

Connected Car社会における 安全安心サービス

2017年4月19日
総合警備保障株式会社

Connected Carを活用した新たな地域サービスの創出

- これまでALSOKでは、地域課題に対応する様々な安全安心サービスを展開
- 一方、少子高齢化・人口減少、地域経済の衰退等、地域課題は山積
- Connected Carの活用により高品質で持続可能なサービスモデルを創出し、自治体や地域住民が進める安全安心な地域づくりに貢献

地域社会におけるALSOKの安全安心サービス



防犯



設備管理・防災



健康相談、緊急通報
各種の介護サービス



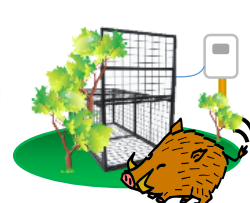
介護施設運営



社会インフラ監視



空き家管理



有害鳥獣対策

少子高齢化、労働力不足、地域経済の衰退 等

地域社会が求めるニーズが多様化（移動支援、生活支援 等）

Connected Car社会

リアルタイム伝送、データ共有・活用等と広域連携（自治体間の連携）

地域課題に対応する高品質で持続可能なサービスモデルを創出

Connected Carを活用した安全安心サービス (既存サービスの品質向上・新たな価値創出)

地域見守りネットワーク

自治体や地域住民と連携して構築・運用中の地域見守りネットワーク

目的：認知症患者の徘徊や児童の通学等を見守り

専用タグを持つ見守り対象者（高齢者、児童等）が専用アプリをインストールしたスマホを持つ協力者（地域住民、タクシー等）にすれ違くと、協力者のスマホから位置情報がご家族へ送信される仕組み



Connected Car社会

車載カメラで収集した映像をリアルタイムで解析し行方不明者を早期発見

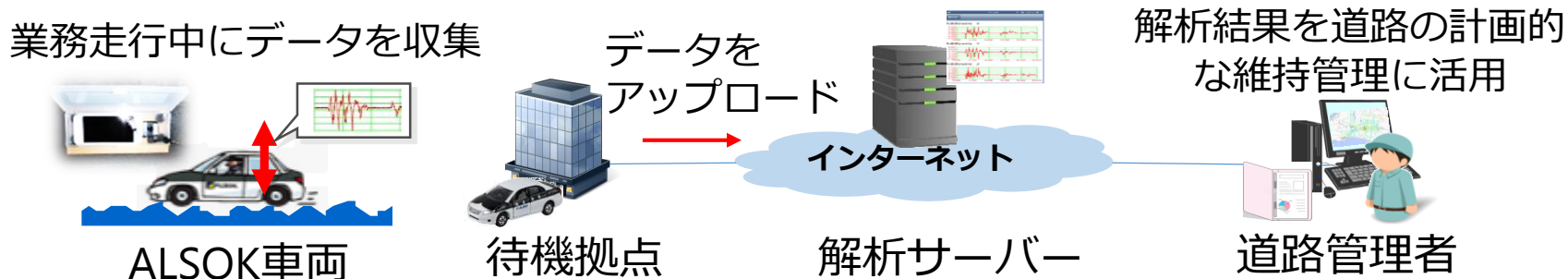


社会インフラの監視

自治体の道路管理業支援サービス（道路モニタリング）

目的：自治体の道路管理業務支援

簡易センサーを搭載した警備車両で業務走行中（巡回、顧客訪問等）に、路面の凸凹情報を収集。収集した情報を待機拠点からアップロードし道路管理者に提供する仕組み



Connected Car社会

リアルタイム情報共有により道路補修の早期対処や道路利用者への危険回避の周知が可能に → **業務効率化、サービス拡大**



生活支援サービス

ALSOKのサービス基盤を生かした地域生活支援

目的：自治体、地域住民の安全安心

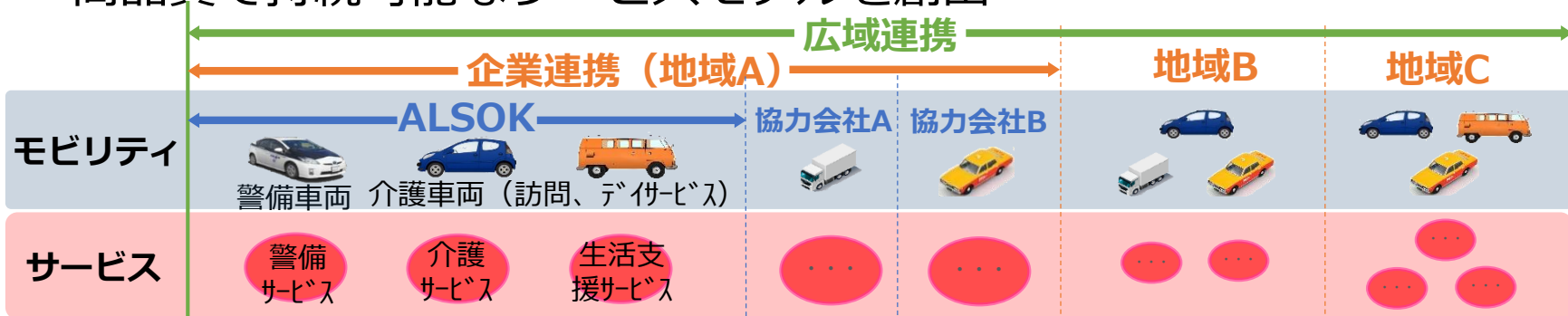
モビリティとサービスの一対一对応で、防犯、健康管理、介護等の安全安心サービスを展開
地域の移動、買い物支援、家事代行等の新たな生活支援ニーズが発生



ALSOKのサービス基盤（隊員、車両6,000台、待機所2,400箇所、コールセンター、各種データ（在宅有無等）

Connected Car社会

企業・自治体連携、モビリティの管理プラットフォームにより、
高品質で持続可能なサービスモデルを創出



Connected Car社会の実現に向けて

地域社会において、Connected Carを活用した新たな安全安心サービス（地域見守り、社会インフラの監視、生活支援等）を実現するためには、**地域現場での実証実験**を通じて様々な課題を検証する必要

（想定される課題）

○制度・運用面

地域住民、自治体、他企業等との連携の枠組み・役割分担、プライバシー保護、データ共有の仕組み 等)

○技術面

リアルタイムでの収集・解析・配信技術、プライバシー保護技術、運行管理システム 等)